

実践 知名町立田皆小学校

1 はじめに

知名町は、鹿児島島の南南西 536km の東シナ海上に浮かぶ沖永良部島の南西部に位置し、年平均気温 22.6 度、亜熱帯の花々が咲き乱れる人情豊かな町である。年間降水量も 2000mm と多く、夏には台風も多く襲来する島である。町内各所に湧水が発達し、古くから島の人々の水源として利用され、水量に応じて大小の集落（字）が形成されている。学校は、町の行政中心である知名小学校区の北に位置し、「田皆」1 字だけで校区を形成する珍しい校区である。校区はほとんど平地で、大部分が畑地であるが、緑も多く、自然豊かな土地である。本校は、全校児童 37 人、PTA 戸数 26 戸の小規模校である。

学校教育目標「自ら進んで考え、心豊かで創造性に富み、心身共にたくましく生きる田皆の子どもの育成」を達成するために、家庭・学校・地域と連携した教育活動が展開されている。特に、読書活動は特色ある教育活動として学校経営の重点に位置付けられており家庭・学校・地域と連携した様々な読書活動を推進している。



2 活動の実際

(1) 主に学校が中心となって行う活動

- ・ 朝の読書タイム（火・木）
- ・ 目標冊数の設定
- ・ リーディングバディ（児童間の読み聞かせ）
- ・ 音読放送（週 1 回、給食時間）
- ・ 読書月間(11 月)、旬間(2 月) 等
- ・ 音読カードの活用（家庭）
- ・ 学級文庫の設置（町立図書館の活用）
- ・ 全校読書の集い
- ・ 選書会（家庭）

注 印は家庭・地域とつながりが深いもの

(2) 主に家庭・地域と連携して行う活動

- ・ バースディリーディング
- ・ 毎月 23 日の親子読書の日の取組
- ・ 全校読書の集いのボランティア
- ・ 図書ボランティア
- ・ 朝読み放送
- ・ 緑陰読書
- ・ お話し宅配便
- ・ 中学校図書部読み聞かせ 等

3 主に家庭・地域と連携して行う活動

(1) バースディリーディング

バースディリーディングとは、子どもの誕生日や誕生月に、その子どもの保護者が来校し、各学級で本の読み聞かせをする取組である。中には、幼いときの写真を見せて話をしたりバースディソングを歌ったりする保護者もいる。保護者は少し緊張し、子どもも恥ずかしそうにはしているが、とても温かい親子の心の交流の場となっている。学級 PTA が主体となり計画を立て実践する。内容や方法は各家庭に任されている。近年は、父親の参加も増えてきており、学校全体の実施率は 95% となっている。



【バースディリーディング】

第2回学級PTA資料 2012.5.14(火)
田部小学校 2年
(決起集会)

会期 ○はじめの言葉
○学級PTA年間テーマと努力点
○親子レクレーション
内容、時期
○バースディリーディング
○その他
のちのちの希望

バースディリーディング計画

6月18日(木) 15:25～ ほまれさん	10月11日(金) 15:15～ すみたろうさん
7月13日(金) 15:25～ ゆうほさん	2月27日(木) 15:15～ だんきさん

【バースディリーディングについて】

- ・ 互いに恥ずかしくはあるが、喜んでくれるので親としても楽しい。(保)
- ・ 親にとっていいか悪いかは、それぞれだが、子どもは内心嬉し恥ずかしという感じだと思う。いつもと違う時間をほんの少し過ごすのもいいと思う。(保)
- ・ 小さい時のことをいっぱい話してくれるから楽しみ。(子)
- ・ 友だちの小さなころがよくわかって楽しい。(子)

【バースディリーディング計画】

(2) 親子読書の日の取組

毎月23日の親子読書の日には学校がノー宿題デーとしているので、ゆっくりと親子で読書活動に取り組むことができる。子どもが読んだり、保護者が読み聞かせをしたりするなど、各家庭で様々な取組が見られるようになった。子どもたちや保護者からもとても好評で親子の語らいの良い機会となっている。また、親子読書の後は、子どもたちは感想カードを書き、保護者はコメントを書くようにしている。

親子読書の日の活動形態

- ・ 子どもが本を読む。
- ・ 子どもが読んだり、親が読んだりする。
- ・ 最初に子どもが読み、次に親が読む、最後に感想を話し合う。
- ・ 兄弟で読み聞かせをしている様子を保護者が聞く。等



【親子読書の様子】

親子読書 カード

戦争について、いろいろ調べて、まず「知る」ことが大事。いい本だね。絵もすごい。(保護者コメント)



【親子読書について】

- ・ 子どもがより読書を楽しむようになった。(保)
- ・ 学年が上がるにつれ、一緒に本を読むことが少なくなってきたので良いスキンシップになっている。(保)
- ・ 親と本が読めて、本のことでいろいろ話せるのが楽しみ。(子)

4 終わりに

今年度、家庭・学校・地域と連携した読書活動の取組が認められ、読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞をいただいた。家庭・学校・地域と連携した読書活動の中には、朝読み放送やバースディリーディングなど、30年、15年と継続して行われているものも多い。

これは、家庭や地域の理解と協力がなければ続けていくことができないものである。また、読書活動を通して子どもと関わっていくことの良さをそれぞれが実感しているからである。これからもこれらの活動を大事にしながら子どもたちに読書の良さを伝えるための活動を家庭・学校・地域と連携して積極的に行っていきたい。